

第2回メディカルデザイン ワークショップ

2019年2月22日
金曜日
13:00～16:30
参加費無料



主催：富山大学、経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局
後援：富山県
協力：富山西総合病院、富山西リハビリテーション病院

富山大学では平成30年度よりBiodesign **バイオデザイン**を採用入れた大学院生命融合科学教育部**メディカルデザイン研究教育プログラム**をスタート、さらに産学連携による医療福祉機器開発の実践の場として**メディカルデザインセンター**（仮称）を開設します。バイオデザインは米国スタンフォード大学によって確立された、**医療・福祉の現場における患者や医療従事者の行動を観察して潜在的なニーズを探索し、多くのユーザーに役に立つ＝“売れる、医療福祉機器等を効率的に開発する手法**です。バイオデザインを知っていただくために、入門講義に加え、病院施設でニーズ探索を行い、グループ・ブレインストーミングによって革新的な医療福祉機器を案出するワークショップを経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局と連携して開催します。医学の専門知識は不要です。医療福祉関連産業に携わっている／参入することを検討されている企業の開発担当者、開発統括者、経営者の皆様、是非、先端的な開発手法をご体験ください。

プログラム

- 13:00～13:20 挨拶、ワークショップの概要説明
- 13:20～14:00 講義 バイオデザインの手法
- 14:00～15:30 現場観察実習 治療・リハビリ施設におけるニーズ探索
3グループに分かれ、1カ所当たり30分間で3カ所を見学
※現場観察実習に参加しない方は講義室でビデオ学習
- 15:30～16:30 教室実習 医療・福祉機器のコンセプト創出

申し込み：電子メールでttabata@eng.u-toyama.ac.jpまで、参加希望者全員のご氏名、ご所属、ご役職、連絡先電子メールアドレス、現場観察実習への参加希望の有無、をお知らせください。締め切りは2019年2月12日です。

定員：30名。このうち18名まで現場観察実習に参加していただけます。申し込み先着順。1企業当たり2名様まで。本ワークショップは開発手法の普及を目的としておりますので、第1回ワークショップに参加されていない方々を優先いたします。定員超過により今回参加できなかった申し込み者には、第3回ワークショップに優先的に参加して頂けるよう配慮いたします。学内関係者も参加できますが、企業の方々を優先させていただきます。

問い合わせ先：担当教員 田端俊英（上記メールアドレス又は直通電話076-445-6742）

集合場所

医療法人社団藤聖会 富山西総合病院 2階多目的ホール
〒939-2716 富山県富山市婦中町下轡田1019

